

令和4年3月9日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

～未来技術の社会実装と地域における新産業の集積を目指して～

## 東三河ドローン・リバー構想推進協議会 第4回総会を開催します

令和3年度の成果報告や、令和4年度の事業計画・予算（案）の審議、ドローンファンド創業者の千葉功太郎氏による特別講演等を行います。

東三河ドローン・リバー構想推進協議会では、未来技術の社会実装を通じた地方創生の深化を図り、ドローン・エアモビリティに関する新産業の集積をはじめとする地域経済の活性化及び地域課題の解決に向けた官民協働の取組を進めています。

この度、令和3年度の成果報告及び令和4年度の事業計画・予算等の審議を行うとともに、ドローンファンド創業者の千葉功太郎氏より、特別講演（オンライン）をいただき第4回総会を下記のとおり開催します。なお、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、会場開催とオンライン開催を併用します。

### 記

1 開催日時 令和4年3月14日（月） 午後1時30分から4時30分まで

2 会場 豊川商工会議所 2階 ホール

3 内容

- (1) 議 事 役員等の選任（案）について  
協議会規約の一部改正について  
令和4年度事業計画（案）について  
令和4年度予算（案）について

(2) 特別講演「ドローン・エアモビリティの可能性と将来像」（オンライン）

講師 ドローンファンド 創業者／代表パートナー 千葉 功太郎 様

(3) 令和3年度成果報告

※成果報告の詳細は裏面を参照ください。

4 参加者数 約150名（オンライン参加者含む）



昨年（令和3年）の総会の様子



令和3年度成果報告 詳細

項目	発表者	発表内容
全体概要報告	事務局 豊川市企画政策課	■令和3年度協議会活動報告、実証実験場
物流研究会	座長 ミヤチ(株) 座長代理 (株)トリエクトリー	■研究会活動案件の紹介(総括) ■11/3 臨海部での注文品配送実証実験 ものづくり製品の開発進捗 AI 管制システムによる複数機自動航行
	名古屋鉄道(株)	■9/10 過疎地域ドローン物流実証実験
	みかわドローン協会	■3/3 過疎地域での医薬品配送実証実験
作業省力化 研究会 (農業分化合会) (1万点検分化合会)	座長 (株)田村組	■研究会活動案件の紹介(総括)
	愛知東農協	■7/12 農薬散布実証実験
	(株)フジヤマ	■橋梁における2/9 現場実証、3/11 勉強会
	座長代理 三信建材工業(株)	■防波堤(10月)及びダム(9月、2月)における実証実験
災害対応 研究会	座長 豊川市防災対策課	■研究会活動案件の紹介(総括) 災害対応システム構築に向けた活動
	中部電力PG(株)	■2/25 臨海部避難訓練での実証実験(展開映像による電力設備被害状況の把握と復旧)
	座長代理 (株)トリエクトリー	■災害対応システムの全体像と将来像

※発表内容は一部変更する場合があります

【お問合せ先】

豊川市役所 企画部 企画政策課 瀬野・安藤  
TEL:0533-89-2126 Eメール:kikaku@city.toyokawa.lg.jp

## 東三河ドローン・リバー構想推進協議会 第4回総会 開催内容のポイント

### ・協議会の主旨

「東三河ドローン・リバー構想推進協議会」は、豊川市・新城市の地元経済団体の要請を受け、ドローンを活用した地域経済の活性化・地域課題の解決を目的として官民協働で取組を進めるため、令和2年8月に設立、活動は2年目を迎える。

### ・会員数

令和4年3月14日時点で、地元企業等56社・団体、地域外の企業等26社・団体が協議会に入会しており、参加企業等は着実に増加している。

### ・令和4年度事業計画（案）、予算（案）

令和4年度は、初心者でもドローンなどの未来技術に触れられる体験型イベントを始め、企業や市民向けのPR活動を継続的に実施し、ドローンを活用する機運醸成や人材育成につなげる取組を進めるとともに、地元企業の販路拡大や技術革新を支えるため、多くの企業が実証実験に参加できる環境づくりを進める。

### ・特別講演（予定時刻 14:10～14:50）

ドローンファンド創業者・代表パートナーである千葉功太郎氏から「ドローン・エアモビリティの可能性と将来像」について講演いただき、この地域における新産業集積に向けた機運を加速する。

講師紹介：千葉功太郎氏

国内外のインターネットやリアルテック業界におけるエンジェル投資家として活動する中で、2017年6月にドローンファンドを設立し、新たな産業の創造にフルコミットで活動されています。

### ・令和3年度成果報告

本協議会に設置した3つの研究会である、物流研究会、作業省力化研究会、災害対応研修会にて、令和3年度は計13回の実証実験を実施した。

また、地元企業の技術を生かし、ドローンポートや輸送ケースなど、未来技術に関連する複数の製品開発が進んでおり、技術革新に取り組む地元企業の主体的活動が活発化している。